

(1) 事業の概要等

事業番号	B2302-3
実施計画事業	○
実施計画事業以外の事業	

令和4年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	こまき新産業振興センター運営事業					担当部			地域活性化営業部		
	事業期間	令和元年度	～	令和6年度以降		担当課			商工振興課			
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本施策	23	展開方向	2	担当係			新産業創出係		
	予算区分	一般会計	款	7	項	1	目	2	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画	こまき新産業振興センター事業実施要綱					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	市内の産業力を高めるため、市の施策とリンクした「成長産業への参入促進」「新事業展開の促進」「生産性革命の推進」を3つの柱として市内企業をサポートし持続的な産業・雇用・財政の基盤形成を目指す。										
	対象 (何・誰を対象に)	市内企業										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年度の実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・企業向けセミナー、ワークショップ開催 クラウドで踏み出すリモートワークの第一歩、初心者向け「ECサイト」売上アップセミナー、ドローンのビジネス活用セミナー、D2Cセミナー、D2Cワークショップ、DX・IoTワークショップ等 ・事業者の状況に応じた訪問支援 ・市の補助金制度案内、こまき応援寄附金お礼の品登録案内 ・HPでの情報発信強化、YouTubeでのセミナー情報発信(R3より) ●直接経費(令和3年度) <ul style="list-style-type: none"> ・市内産業成長促進支援委託料 3,198,236円 ・小牧市産業クラスター推進協会補助金 26,248,176円 ・こまき新産業振興センター運営協議会委員謝礼 35,400円 ●直接経費(令和4年度) <ul style="list-style-type: none"> ・市内産業成長促進支援委託料 5,800千円 ・小牧市産業クラスター推進協会補助金 30,200千円 ・こまき新産業振興センター運営協議会委員謝礼等 338千円 										
受益者負担	無	セミナー、ワークショップで一部自己負担が必要となる場合がある										

(2) 事業費

事業費	項目	単位等	H30	R1	R2	R3	R4		
			直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	0	13,517
			国・県支出金	千円	0	12,766	13,491	0	
			その他	千円	0	0	0	6,000	
			計(A)	千円	0	26,283	27,890	29,481	
			対前年比	%	—	—	6	5	
			予算額	千円	0	31,600	32,200	35,138	36,338
	人件費		正規職員	人	0.0	1.0	1.0	1.0	
			正規職員(平均賃金)	千円	0	7,486	7,486	7,486	
			その他職員	人	0	0	0	0	
			その他職員(時給×時間)	千円					
			計(B)	千円	0	7,486	7,486	7,486	
			事業費合計(C=A+B)	千円	0	33,769	35,376	36,967	

(3)業績

展開方向における指標の推移		基本施策		23		展開方向		2	
指標名		単位	方向性	基準値	R1	R2	R3	R4	
1	こまき新産業振興センターにおける支援企業数	件	↗	—	71	120	140		
2									
3									

指標	指標ほか		単位		H30	R1	R2	R3	R4
	成果指標	こまき新産業振興センターの支援活動を契機に生産性を向上させた企業数	件	目標	—	10	20	12	8
				実績	—	3	6	8	
	活動指標	訪問件数	件	目標	—	150	250	200	200
				実績	—	258	200	186	
	単事業あたり	受益者数(a)	人	目標					
				実績					
	単事業あたり	受益者あたり事業費(=C/a)	円	目標	—	—	—	—	
				実績					

(4)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの	
	事業の達成状況と課題	<p>新型コロナウイルス感染症が拡大した令和2年度以降は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置期間中は訪問活動を自粛しながら支援先企業の状況に応じた柔軟な支援活動やセミナー等の開催を実施した。</p> <p>開設から3年が経過し継続的な企業訪問や支援活動、市の補助金制度の周知やこまき応援寄附金のお礼の品登録案内等による市施策との連携ができるようになってきているが、市内企業における認知度はさらに向上させる必要がある。</p>		
	今後の実施内容	<p>引き続き現状の予算の範囲内で「成長産業への参入促進」「新事業展開の促進」「生産性革命の推進」の3つの柱に即した企業支援、各種セミナー活動等を継続し、令和3年度より開始したHPでの情報発信強化、YouTubeでのセミナー情報発信によりセンターの認知度の向上を図りながら市内の産業力を高める活動を実施する。</p>		
事務事業評価による額	千円	節	細節	細々節